



調布市文化協会

調布市小島町 2-33-1 調布市文化会館たづくり6F

URL : <http://www.chofushibunkakyokai.jp>
chofu-bunkyo@bj.wakwak.com

文化協会活動の成果〜後継者育成につなげよう

調布市文化協会 会長 高岡 宮子

平成21年4月に文化協会の悲願でもあったホームページを開設・公開し、同時にロゴマークも作成しました。会報・第45号の上に記された「ロゴマーク」は、調布市マークの右肩に文化の文字と3つの芽、この芽は「調布市の文化の芽がさらに発展し、市民と共に躍進する」との意味合いです。

また、調布市マークの右肩に文化の文字は、文化協会加盟23団体が「調布市民文化生活の向上に寄与する」との目的と、平素の調布市行政と当協会とのより良い信頼関係をも物語るものです。

今年度も44年目の活動が開始され、中でも主事業の調布市民文化祭は創設55年の年を迎え、文化協会加盟団体と市民が一体となって実行委員会を組織し、各分野ごと10月の開会に向け自主的に、立案・企画など準備が進められています。

55年の歴史を誇る市民文化祭を通し培った組織力は、さらに各団体の周年事業にも活かされ、民謡連盟40周年歌謡同好会連盟15周年と次々に開催され、その内容は感慨深いものがあります。

自主運営のもと文化協会の多種に及ぶ年間事業は、加盟各団体の組織力に委ねられることが多くありますが、加盟23団体・個々の組織運営が充実してこそ、文化協会

の発展に繋がるものと確信しています。

今世界中で経済不況が続く、日本でもシャッター通り、派遣切りなど、目新しい言葉が飛び交っています。このような社会状況だからこそ、心癒される「芸能・芸術文化」の存在が貴重なものであると共に、調布市におけるこの文化活動は益々顕在と確信しています。

来年初立45周年を迎える文化協会今後の在り方として

- 一、各分野における後継者育成
- 二、各団体の組織の充実
- 三、調布市行政との「より良い信頼関係の構築」

以上の三件を必要不可欠として再確認する時期ですが市内では多種多様な文化を自由に学べる環境の中、短期間で学び終えて仲間造りが思うように図れない現状の推測・認識と、どの分野も高齢化が進む現状を認識しつつ永年培った各分野の貴重な文化の後継者育成に勤める事や、各団体の組織の充実には、各団体ごとに会議の方法など継続を維持して行くことが大切に思えます。

苦節44年・当協会が自主的に活動できますのも、お陰様で調布市行政とのより良い信頼関係のもと成り立っていることは、いまさら申し上げるまでもありません。

この良き環境を糧に、調布市のさらなる文化の発展に文化協会一丸となって努めてまいります。



2010(平成22)年度 調布市文化協会第44回定期総会

日 時 2010年4月30日 (金)18時～
会 場 調布市文化会館たづくり12階大会議場
出席者 81人 欠席 4人
委任状 7人 (構成員92人)
議 長 樋口尚也氏 (吟剣詩舞道連盟)

第44回定期総会開催される

第44回定期総会が標記の通りに開催されました。

恒例通り高岡会長挨拶に始まり、来賓長友市長及び大須賀市議会議長よりご祝辞をいただきました。

議長に吟剣詩舞道連盟の樋口尚也氏、書記に音楽連盟の奥平恭子氏が指名され、議事に入りました。

第1号議案 09年度事業報告

第2号議案 09年度一般会計決算報告及び09年度コミュニティサロン調布入間町会計決算報告及び会計監査報告が行われ、それぞれ承認されました。

第3号議案 慶弔費に関する規約及び細則の一部改正の承認が行われました。

第4号議案 文化協会新役員承認後、新高岡会長の挨拶がありました。続いて、

第5号議案 10年度事業計画(案)及び10年度一般会計予算(案)が審議され、いずれも承認されました。

調布市文化協会加盟団体・代表者一覧

加盟団体名	代表者	電話番号
調布市アマチュア囲碁連盟	丸茂 一	〇四二一五九二一四六九二
調布市いけばな連盟	江口 勝子	〇四二一四八八一六二三八
調布 映 像 協 会	吉田 正夫	〇三三三三〇〇一九八三〇
調布エスペラント会	山野 裕	〇四五一九六一二二七七八
調布市演劇協会	山根 久幸	〇四二一四八二一三三七三
調布市音楽連盟	柿沼 正子	〇四二一四八七二五二五六
調布市歌謡同好会連盟	齋藤 一正	〇四二一四八五二二四一
調布市奇術協会	岳野 勝治	〇四二一四八五二二四一
調布市吟剣詩舞道連盟	連代 義明	〇四二一四八二八七八三
調布工芸美術協会	大山 雅子	〇四二一四八二一三七〇
調布市茶道連盟	芝村 智豊	〇四二一四八二一三七〇
調布三曲協会	門傳 良男	〇四二一四八六二四四七二
調布市社交ダンス連盟	泉 梅信	〇三三三三〇〇一六六一三
調布 写 真 連 盟	前田 豊	〇四二一四八四一三〇〇七
調布市将棋連盟	宇都宮 靖彦	〇四二一四八二二九五三
調布市書道連盟	小川 美代子	〇四二一四八七二一三二八
調布市大正琴連盟	安部 妙子	〇四二一四八二一三五〇〇
調布市ハワイアンフラ協会	富澤 登代子	〇四二一四八二二二九二
調布市美術協会	有川 和子	〇四二一四八九一八三四〇
調布市フラワーデザイン協会	高岡 宮子	〇四二一四八六一一五七九
調布市民謡舞踊好友会	市川 徹子	〇四二一四八七二一〇八八
調布市民謡舞踊好友会	両角 秀子	〇四二一四八二一六三三三
調布 洋 舞 協 会	甲斐 浩	〇四二一五九一三六〇二

調布市長と語る文化懇談会

調布市文化協会副会長

岳野 勝治

日時 平成22年6月4日 18時

会場 文化会館たづくり9階

出席者 文化協会役員理事 42名

司会者 副会長 吉井千香子

冒頭、会長挨拶の中で「お互い何んでも言い合い、言いつばなし、聞きばなしを原則とする。」とお話があり始められた。さっそく「文化協会をどう見ておられるか？」との質問があり、市長は、「すばらしい活発な活動をしておられると思うが、あくまでも22万市民の中でどう位置付けをするのかの「問題」との解答で、この姿勢は終始変わる事はなかった。

続いて役員より先日行われた三島市への研修旅行の報告が話題作りとして行われ、他市の例で、担当の市職員が替ると、「それ迄培って来た、考え方も、信頼関係も失われてしまうような事もあつ



た。」との話があった。

別の発言で「狛江市では絵手紙発祥の地である事から、市職員に絵手紙の講習を行った、との事であるが、調布市でも文化関係に対する教育は考えておられるか？」に対して市長から「文化の感覚に限らず総ての面で、職員の業務に対する意識の底上げを図りたい。」その他の意見として

● 駅前に「映画の街」としてのシンボリックなものを作ったら？

無駄使いとお叱りを受けるかも知れないが、現在NHKで放送

中の「ゲゲゲの女房」に合わせて「ぬくもりステーション」を作った。

● 野川の桜のライトアップを市の名物としたらどうか？

● 京王線の地下化が完成した後の鉄道敷の使用方法について：

● 「ゲゲゲの女房」の調布市の情景写真について：

● 木島平山荘のその後の経緯について：

等々のご意見が出され、市長からもコメントを頂きましたが割愛させて頂き、最後に「将来的には美術館が欲しい」とのご意見に対しては、

「ようやく国体との関係で要望の強かった武道館は出来るが、美術館について、気持は持っているが、あくまでも22万市民の思いで決まる。」

話題は尽きなかったが以上有意義な市長との懇談会を終了した。

調布市文化協会役員

任期 平成二十四年三月三十一日まで

〔会長〕

高岡 宮子(フラワーデザイン協会)

〔副会長〕

吉井千香子(美術協会)

岳野 勝治(奇術協会)

〔事務局長〕

江口 勝子(いけばな連盟)

〔事務局次長〕

奥平 恭子(音楽連盟)

〔会計〕

加藤 弘子(民謡舞踊好友会)

山岸 直子(ハワイアンフラ協会)

〔庶務〕

門傳 良男(三曲協会)

小川美代子(書道連盟)

〔会計監査〕

齋藤 一正(歌謡同好会連盟)

大島 茂代(洋舞協会)



静岡県三島市文化芸術協会と交流

調布市文化協会副会長 吉井千香子

5月30日(日)・31日(月) 文化協会会員30名、調布市のバスで、三島市文化芸術協会との研修交流旅行に出掛けました。

心配された雨にも降られず、渋滞もなく、予定より早く無事三島市に到着。文化財に指定されている楽寿園、清らかな水が湧き出る柿田川湧水を見学の後、1時より三島市文化芸術協会との交流ということで、市民生涯学習センターに伺いました。

現在の「三島市文化芸術協会」は、昭和28年に発足した「三島市民文化協会」からわかれて、昭和48年に、「三島市民文化会議」として、24構成団体で創立。平成10年に組織名称を変更。「三島市文化芸術協会」とし規模も大幅に改正して、現在に至っているようです。また前身の、「三島市民文化



協会」も別に今も存在しているとのこと。

平成19年に部会再編成がなされ洋楽・邦楽・芸能・日舞・吟詠・詩舞・演劇・ギャラリー・生活文化の七部会で、活発な活動をされ

ているようですが、やはり一本化されていない現状と、作品に対して賞を設け、賞金を出す等、行政サイドの運営を感じさせられました。

我々調布市文化協会は、市民からの盛り上がりで組織され、自ら運営に当たっているということ、大きな違いがあると思えました。

上も下もなく、大きな一つの輪となって充実した中身の濃い文化を育てて行きたいものです。

調布市文化協会を誇りと思える幸せを感じながら、三島市教育委員会文化振興課の小川さんの案内で三嶋大社を見学の後、宿泊地、焼津市に向いました。

翌31日(月)は火坊守護の総本山、可睡齋・目の守護霊山として信仰を集める油山寺、日本一の千手観音・焼津市大覚寺を見学、お参りして種々のご利益をいただき、今後増々文化協会が発展することを願いつつ帰路に着きました。

|| 研修旅行に参加して ||

神秘の泉……

柿田川

書道連盟

常盤木邦子

雨上がりの朝、調布市のバスで市役所前を出発し三島市へと向いました。途中、三島で『楽寿園』と「柿田川湧水」を見学しました。『楽寿園』では、富士山の噴火で流れ出た溶岩に湧き水が溜まって出来た池のある庭園が見事でした。日本三大清流の一つである「柿田川」の透明に湧き続ける水はまさに神秘の泉…別世界の光景に吸い込まれそうでした。午後からはいよいよ「三島市文化芸術協会」との交流会。七名の役員と市職員一名にご出席いただき、情報交換を行いました。調布市の文化協会のような自主組織は他市にはほとん

どないのだと改めて認識しました。従ってこういう交流の場では、私たち調布市文化協会の会員は調布市の代表として、メッセンジャーの役割を担っているのだと感じました。高岡会長の調布市紹介を聞くにつれ、折りしも『ゲゲゲの女房』の放映中ということもあり、調布に対してとても良いイメージを持っていただけたのではないかと、少し誇らしい気持ちになりました。交流会の後はせせらぎのほとりを歩きながら、三嶋大社を参拝しました。翌日は『可睡齋』『油山寺』『大覚寺』と印象深い三つのお寺を巡りました。特に「目」の守護である『油山寺』のご住職のお話には「心の目」を開かされた思いがし、『大覚寺』の「焼津千手観音」には慈悲の目で見守られているという思いを抱きました。二日間、気持ちの良い方々と共

に充実した時間を過ごさせていただき、ありがとうございました。

想い出の三嶋を

たずねて

将棋連盟

友澤 常三

10年近く前になるだろうか、正月、三嶋大社にお参りしたことがあります。境内には沢山の出店があり、雑踏でその賑わいは大変なものでした。そんな記憶もあって、今回の旅行を楽しみにしていました。

三島での最初の観光地は「楽寿園」。明治維新で活躍した宮様の別邸です。広大な敷地の自然豊かな市立公園にあります。建物を案内されたが、天井が低く廊下は迷路のように曲がっており、「怖いのは刺客!…」などと勝手なことを考えながら見学しました。

三島市では文化協会と言わず「文化芸術協会」といいます。文化に

芸術を加味した歴史と伝統を重んずる地方都市をイメージして付けられた名前かと思っていました。現実には幾多の変遷（文化協会・文化会議・芸術協会）を経て「文化芸術協会」に落ち着いたようです。市の年間行事として「夏祭り農兵パレード」「市民芸術祭」などがあり、これらの行事は、行政が中心になり文化芸術協会が全面的に協力して行なわれているのとことです。

会報誌「翡翠」（かわせみ）には、市民がはつらつと参加している様子が伺えます。が、出演者関係以外の参加者がどうしたら増えるか、頭を痛めているということでした。

今回の研修旅行では、会長初め役員の皆さんの細やかな心遣いに非常に感謝しており、お世話になりました。



実 技 講 座

デジカメ&ビデオ初級講座

調布映像協会 黒澤 眞

例年春期に開催しているデジカメ&ビデオ初級講座を4月13、14日の2日間行ないました。

昨今のデジカメ・ブームは少し下火にはなりましたが、デジカメ



を使ってスナップ撮影や旅行に行った時沢山撮影しています。

最近のデジカメは高機能になって取扱説明書を見ても良く分からないと云う人が多く、実際カメラを買ってその儘にしている初心者の方が多くいます。

講習会ではそんな人達を対象にカメラを買った時、最初に行う事、撮影した写真の確認、メモリー・カードの整理、特に初心者が苦手とする手ぶれの防止、半押しの際ピント合わせを重点的に学習しました。更に人物、風景、夜景撮影等少し高度の勉強も行いました。

また今年も会場の外に出て簡単な撮影会も行いましたので更に理解が深まったと思います。

次回の講座ではパソコンへの取込みを行いたいと考えています。

超カンタン!! 篆刻入門

書道連盟 小川みよ子



篆刻は、書の一分野として制作・鑑賞されています。書・絵画・絵手紙等の作品に落款印として押すことにより、作品としての完成度も増します。

今回は、4月12・19日の二日の講習日を、一回に15名の受講生で、計30名総入れ替えにし、多くの方に篆刻を体験して頂く計画致しました。

申込時点で、刻したいお名前・語句・サイズ・様式等伺い、一回のご参加で仕上げられるように、講師にご無理をお願いしての講座

でした。

通常、印を仕上げるにはかなりの工程があります。わずか二時間30分の講座では無理が生じます。講師の土方囂々先生は、印材〱ヤスリかけ・印稿〱デザイン・資料〱すべてご用意下さり感謝感謝でした。「超カンタン!! 篆刻入門」〱として、刻す事を手軽に体験し、身近に楽しんで頂けたと思います。

この講座での完成印は、本年度11月9日〱14日開催の調布市民文化祭「書道展」に展示発表させて頂きます。

参加された方の真剣な、また、楽しそうなご様子に、立案者として嬉しかった事です。ただ、受講希望の多くの方々をお断りしなければならなかった事、お断りした方々から再講座開催のお問い合わせが多くありました事、ここにお詫びと今後の検討とさせて頂きます。

「色造りに苦心」

調布市美術協会 遠藤 徳雄



実技講座「初めての水彩画」は5月15日、22日の2回、参加者22名で開催した。

1回目は文化協会高岡会長より挨拶を頂き講座が開始された。初回なので形も色も単純な果物

を描くことにした。鉛筆で形をとるところを見てみると初心者とは思えない方も見受けられる。色を施す段階になるとリングの明暗の色がなかなか作れない。色作りに苦心している間にもう時間で、互いに褒めあつて解散となる。

2回目はバラと百合の花を瓶に挿してみた。花の形はリングのようにはいかない。1時間程で鉛筆画が完成。さあどの色から塗り始めようか。色さえ出来ればもう早い。中には多くの色を混ぜてしまいい色が濁ってしまう人も。奮闘すること2時間。皆の絵を壁際に並べた。「ワー」。間近で夢中で描いていた絵も離れてみると長所欠点がよく分かる。

終りに有川美術協会会長より文化祭絵画展、調布市美術協会展の紹介を兼ねた挨拶があり、無事講座を終了することができた。

調布エスペラント会文化講座

調布エスペラント会 山野 裕

●「国際共通語の歴史とエスペラント」 埼玉大学教養学部教授 佐々木照史氏

●「ヨーロッパ連合の最新事情と言語問題」ポーランド出身 イゴール・ヴァシレフスキ

初めての文化講座を6月12日土曜日午後行い、20名参加された。

佐々木教授の専門はロシア語だが、小さい頃親しんだ漢文のお経から、ヨーロッパ、アジアの多くの言語に通じておられる。国際語の歴史としてまず旧約聖書のバベルの塔の話で、天まで届く塔を建てようとした人間に対して神が怒って、言葉をバラバラにして共同作業をできなくさせた。それ以前の共通の言葉が何だったのかは分からない。

古代から中世にかけてサンスクリット、漢文、ギリシャ語、ラテン語、アラビア語がある地域で共

通語として使われたが、原動力は宗教の普及で仏教、キリスト教、イスラム教の経典を通じて聖職者を中心に使われた。

近代、ヨーロッパでは民族語で聖書等が印刷されるようになりフランス語や英語が国力を背景に共通語になってきた。また学者たちが合理的な人工の共通語を色々と提案したが、実用として使われたのは少ない。唯一、一八八七年ザメンホフの提案したエスペラントが現在も使われている。現在は英語が世界共通語だが問題点も多い。イゴール・ヴァシレフスキ氏は、ヨーロッパ連合は加盟国が増えて、通訳、翻訳が大変になったこと、共通語の動き、その中の英語やエスペラントの役割を話された。堅いテーマであったが言葉に関心のある市民の方が参加し、熱心に聞かれた。



創立四十周年記念大会を終えて 「友情出演に感謝の意を」 調布市民謡連盟

会長 市川 徹

去る5月29日、グリーンホール(大)に於いて調布市長、長友貴樹様始め、高岡宮子文化協会会長等多くの来賓の方々のご臨席のもと、『日本列島民謡の旅』のテーマの創立四十周年記念大会が盛大に開催することができました。ご支援に深く感謝申し上げます。

当日は、当協会の会員でもあります、調布市民謡友好会の各会主様始め総勢40名に及ぶ皆様方のご協力により一曲一曲踊りの飾りつけをいただき見ごたえのある絵巻として展開しました。一日一曲のために、髪を結び、衣装を整え、舞台に専念する、好友会一人一人の出演が永い年月の磨き上げられた芸人の心意気であり、ことごとくに友情出演に深い感謝の意を表しこの一日が思い出の一ページとして次に残されるでしょう。

今後も皆様方のご支援を受けられますよう会員一同努力してまいります。

55周年記念調布市民文化祭のご案内

永久テーマ 「みんなでつくろう市民の文化」
第55回テーマ 「文化の風 心でつながる市民の輪」
開催期間 10月16日(土)～11月14日(日)



10月16日(土)より11月14日(日)まで、28団体の日頃の成果が各会場で発表されます。

10月23日(土)24日(日)には例年通り市役所前庭及び文化会館たづくり東側広場を使って、コーヒー販売、工芸美術協会の「実技コーナー」、将棋連盟の「実演コーナー」ハワイアンフラ協会、民謡舞踊友好会出演の「野外ライブ」が行われます。

また期間中10月30日(土)～11月7日(日)には、東部・西部・北部各公民館を中心とした地域文化祭が展開されます。

◇ ◇ ◇

今年55周年記念にあたり、10月16日(土)に開会式を行い、アトラクションに「トリオダクオレ」(心からのトリオ)と題し、江口有香氏、江口心一氏、協岡洋平氏の演奏が行われます。

市民文化祭は55周年記念の企画が進められており、皆様にご協力頂きながら、充実した活動を致したいと存じます。 岳野・奥平